

拝啓 今年はずいぶん寒い冬でしたが、早や2月下旬となりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。今年はずいぶん梅の花が遅いと思っていましたら、テレビのニュースによれば、今年はずいぶん梅が全国的に2-3週間も開花が遅れているそうです。冬の寒波のせいだそうです。

今月は、モーク先生の第10回目ですが、モーク先生と小西先生の往復書簡です。小西先生は、一高時代から、モーク先生にこのような形で手紙を送り、英語を直して頂いた事を知り、小西先生の純粋さが伝わり、感動いたしました。そのようにして小西先生がモーク先生から学ばれたものが、私たちに伝えられたと思うと、まことにありがたく思います。

私は10年ほど前から、南原繁先生の伝記を書いておりました。原稿を書き終わり、教文館に持ち込みましたところ、教文館会長の宮原守男氏が、教文館はずいぶん南原先生に義理がある、是非出版すると言って下さいまして、社長の渡辺満氏が原稿を読んで下さり、出版の契約を結びました。9月中旬発行です。今最終的な原稿の整理に取り掛かっております。エンカウンターのお読者の皆様にご加祈をお願ひ致しましたが、ようやく実り、うれしく思います。ありがとうございました。

3月下旬は、南原先生のふるさと、香川県の東端の相生に行き、先生の生家から旧制大川中学校跡まで、通学路を歩いてみることにしております。往復22キロ、片道3時間ほどの通学でした。南原先生は、その長い通学路のお陰で、晩年非常に健康であったと言われております。

本誌読者の佐藤昭夫さんと昨年行った八ヶ岳登山の際感じた事を「深田久弥さんの思い出と八ヶ岳縦走」という題で書いて、「岳人」という登山の雑誌に投稿しましたところ、採用され、3月号に載りました。投稿が載るという事は、うれしいもので、大学時代の山の仲間と一夕昔話をしました。そのエッセイの最後の一節「山頂で雄大な景観を眺め、ひと息つくとき、心から生きてよかったと思う。」と書きましたが、真実そう思います。

2月16日は、南原先生の勧める人形浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』と『日本振袖始』を見ました。先生がお勧めになるだけあって、伝統芸術の素晴らしさに感銘を受けました。これで3回行きました。

2月18日(土)日比谷公会堂で、司馬遼太郎さんを記念する第18回菜の花忌があり行きました。奥様の福田みどりさんが、あいさつされました。今年はずいぶん弱っておられましたが、感動的なお話をされました。

春がもすぐそこまで来ていることを感じます。どうぞお体ご自愛ください。

平成24年2月25日

山口周三

エンカウンターのお読者各位